

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

🇿🇦 南アフリカ共和国 🇿🇦



【表紙の写真】

子どもとバターナッツ (左下)

バターナッツはカボチャに似た野菜で甘くて美味しいのです。比較的育てやすいのか、雨が降らず、水の少ない地域のホームステイ先の家の庭で育てていたものをパチリ!

ナマクアランド (右上)

北ケープ州にあるナマクアランドは、普段は乾いた砂漠地帯。でも、春になるとオレンジ、ピンク、白、黄色などの花で埋め尽くされます。現地の人々は「ナマクアランドを訪れた人は2度泣く。まず着いた時。そして、立ち去らなければならない時。」とそのすばらしさを表現しています。



柳田深雪

Contents

01 こんな想いを込めました!

02 こんな教材です!

03 こんな風に使えます!

05 なぜ南アフリカ共和国?

第 1 章 南アフリカってどんな国? =キラキラ輝く国=

07 クイズ100人に聞きました!

09 クイズ100人に聞きました! ~南アフリカ編~

11 南アフリカのウソ? ホント?

13 写真から見る南アフリカ

15 South Africa Hair Style!!

第 2 章 ヘえ〜! 南アフリカと日本

19 南アフリカと日本、つながってる??

21 データマップで見るアフリカの中の南アフリカ

23 JICA青年海外協力隊員の活動報告

第 3 章 一緒に考えよう! こんな課題

25 南アフリカのペンギンを救おう!

27 アパルトヘイトからわたしと世界を考える

31 フォトギャラリー

第 4 章 そして未来へ

33 もしも外国とのつながりがなくなったら

34 未来の地球

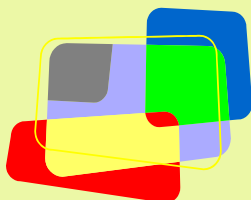
★参考資料★

37 目で見る南アフリカ

39 南アフリカ地図

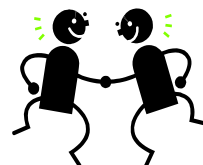
41 参考文献・データ等の出典

41 ご協力いただいた方たち



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい!! つなげていきたい!!
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していけたらいいなと思います。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

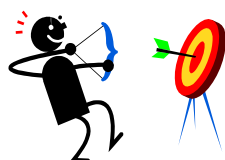
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えてつくりました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけではなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、南アフリカのほんの一面です。本書で南アフリカのすべてがわかるわけではありません。南アフリカに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3～4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。タイトルの横にそれぞれのプログラムの「ねらい」が掲載されていますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

第1章 南アフリカってどんな国？＝きらきら輝く国＝

● P.7・9 クイズ100人に聞きました

南アフリカを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。特に、アフリカ全体についてわたしたちが持っている情報はとても少なく、何となくのイメージだけで捉えがちです。まずは知らないということに気づいて、「アフリカってどんなところだろう?」「南アフリカっていったいどんな国だろう?」と興味を持ってもらって、次の作業につなげるとよいでしょう。また、P.9の南アフリカの高校生に行ったアンケート結果を見てどう思うか感想を話し合ってもいいでしょう。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみてもおもしろいでしょう。

● P.11 南アフリカのウソ？ホント？

カードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業をしますが、場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

● P.13 写真から見る南アフリカ

可能なら写真はダウンロードし拡大して使ってください。参加者がどうしてその写真を南アフリカと考えたかあるいは考えなかったのか、その理由をみんなで話し合ってみてもいいでしょう。このプログラムから、P.25「南アフリカのペンギンを救おう!」P.27「アパルトヘイトからわたしと世界を考える」につなげていいでしょう。

● P.15 South Africa Hair Style!!

可能なら写真はダウンロードし拡大して使ってください。時間があれば、みんなで新しいヘアスタイルを考えてみるのも楽しいですね。ここ考え方に持っていけないことです。南アフリカは、湿度が少なく乾燥していますし、日本人とは髪の質も違います。1日に2回お風呂に入ることから言ってもかなりキレイ好きと言えます。そこを説明して、偏見につながらないようにしましょう。気を付けなければいけないのは、日本の感覚で「髪を洗う回数が少ないから不潔」という。

第2章 ヘえ～！南アフリカと日本

● P.19 南アフリカと日本、つながってる??

これもカードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業をしますが、場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

● P.21 データマップで見るアフリカの中の南アフリカ

アフリカが抱える課題を通して、いわゆる地球的課題（グローバル・イシュー）について考える作業です。今地球にはどのような課題があるのか、その中で南アフリカはどのような現状なのか、なぜ、国際協力をするのか、日本は世界の中でどのような貢献をしているのか...などについて考えられるといいでしょう。データマップを配布して、「データが意味するもの」の部分調べ学習で子どもたちに調べ、発表してもらってもいいかもしれません。

JICAの青年海外協力隊は子どもたちにとって身近な「国際協力」なので、P.23の活動報告を紹介したり、実際に体験談を話してもらうのもいいと思います。

第3章 一緒に考えよう！こんな課題

P.25 南アフリカのペンギンを救おう！

環境問題についてはいろいろなことばが出てくるので、まずはことばと現状をきちんと押さえた上で、「自分ができること」という行動に結びつけることが大切です。参加者によっては、このプログラムを行う前に「地球温暖化」について調べ学習をしておいてもいいでしょう。オランダ・ポルトガルの教材に地球温暖化についての資料を掲載していますので、参考にしてください。

P.27 アパルトヘイトからわたしと世界を考える

「人権」ということばを聞くと難しく考えてしまいがちですが、だれもが対等に認められる社会であってこそ「国際交流」ができるのであり、同時にそんな社会をつくるために国際交流をするのだともいえるでしょう。そうしたことを踏まえ、アパルトヘイトを通して、自分も周りの人も大切にすることを考えるためのプログラムです。「世界人権宣言」のほか、「子どもの権利条約」などもあり、ユニセフ等のHPで調べることができます。

第4章 そして未来へ

P.33 もしも外国とのつながりがなかったら／P.34 未来の地球

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。P.35の成果物も参考にしてください。

その他いろいろ

- 国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者に合わせた進め方にアレンジしてください。
- プログラムは単独でも組み合わせても使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。例えば、「ウソ？ ホント？ クイズ」をやったあとに留学生や青年海外協力隊OB／OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。
- 4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。
- 各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。
- P.31に南アフリカの写真を掲載しています。必要に応じて活用してください。
- P.41に参考文献、出典などを掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていただいた方がいいと思います。
- 南アフリカ以外の国の教材も作成しています。（→P.5）同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいでしょう。
- 慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

なぜ南アフリカ共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

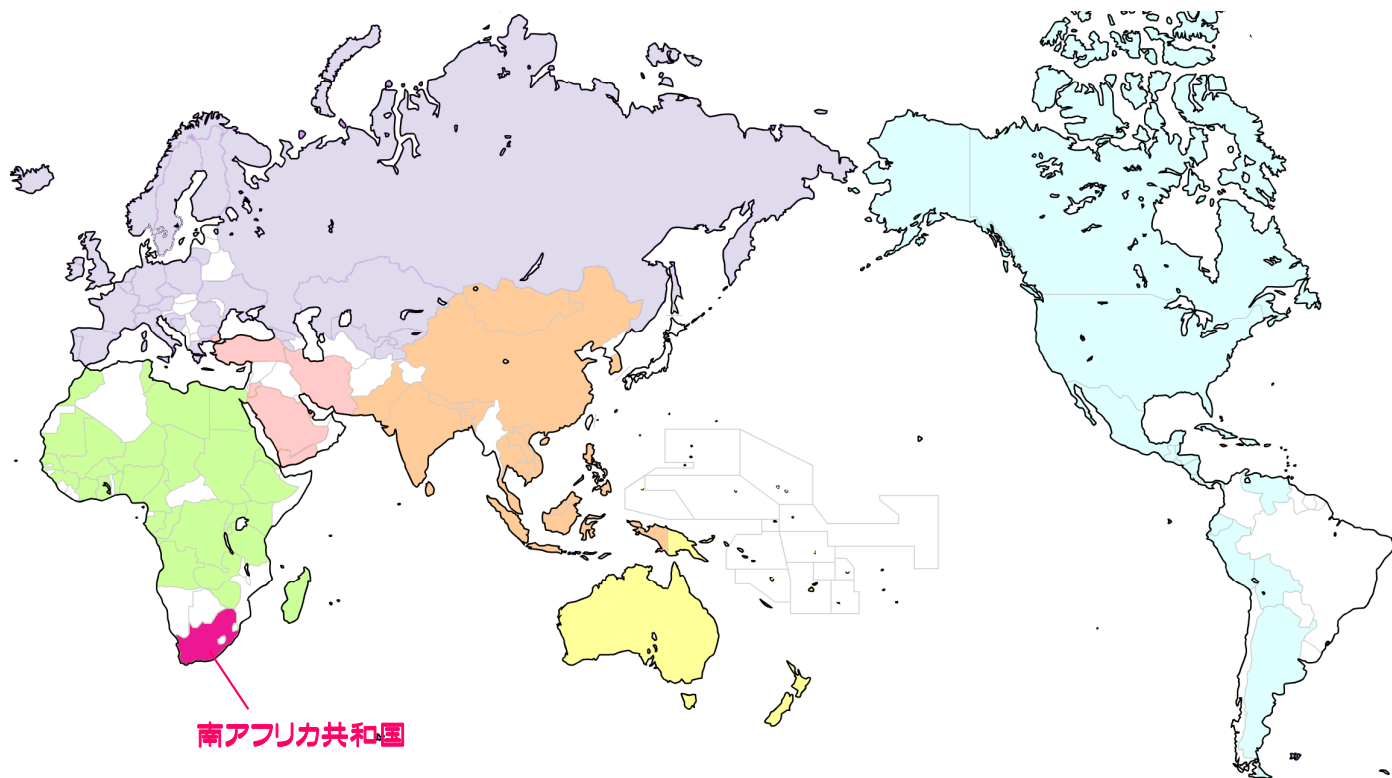
- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、**南アフリカ共和国**のホームシティは、**愛西市**でした。



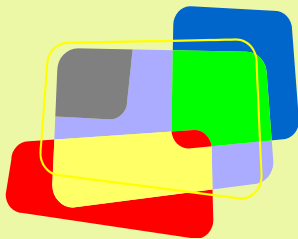
愛知万博／南アフリカ館





南アフリカってどんな国？

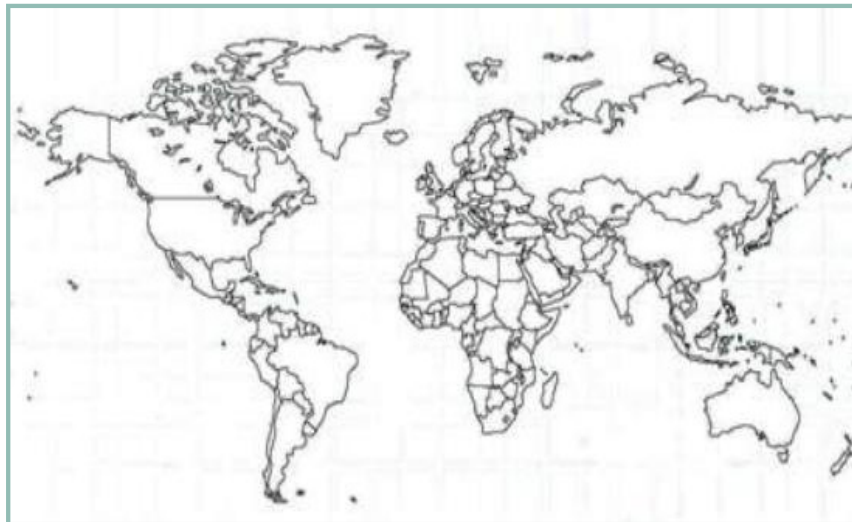
=キラキラ輝く国=



クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんは南アフリカのこと、どのくらい知っていますか？

- ① 下の地図で南アフリカはどこでしょう？ ここだと思うところに印をつけてください。



- ② 南アフリカと言えば何？ 人、物、イメージなど、何でもいいので思いつくものをできるだけたくさん挙げてみよう！
- ③ 南アフリカで知っている都市の名前は？ いくつ思い浮かぶ？
- ④ 知っている南アフリカ人と言えば？
- ⑤ 南アフリカの国旗知ってる？
- ⑥ 南アフリカの人口は？
A. 約1億人 B. 約5,000万人 C. 約10億人
- ⑦ 南アフリカ人の平均寿命は？
- ⑧ 南アフリカの主食は？
A. パスタ B. 米 C. トウモロコシの粉をお湯でこねたもの
- ⑨ 南アフリカの人たちは、ご飯を食べるときどうやって食べる？
A. はし B. ナイフとフォーク C. 手

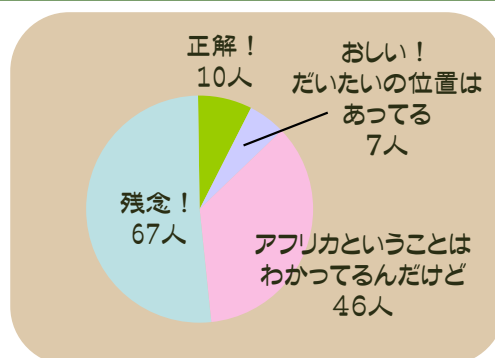
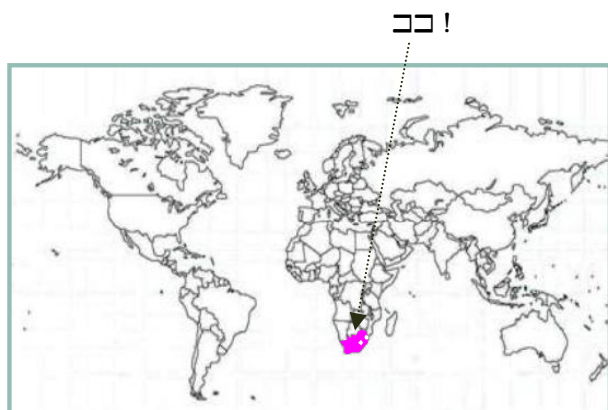


同じ質問を愛西市の小学生123人に聞いた
結果は次のようになりました。



まずは「知らないこと」に気づくことから始め
ましょう。

1. 南アフリカはどこ？



正解率は約7.7%。国名は知っていても位置まで正確に答えるのは難しいですね。

2. 南アフリカと言えば何？

動物(45人) / 黒人(41人) / 暑い(11人) / ジングル(8人) / サバンナ・草原(5人) / 狩り(4人) / アフリカ人(2人) / サッカーがうまい(2人) / 茶色、小麦色(3人) / カラフルな衣装(2人) / ハダシ(4人) / 自然(3人) / 砂漠(2人) / 貧しい(6人) / ユニセフ募金(3人) / 民族(2人) / 2010サッカーワールドカップ(2人) など

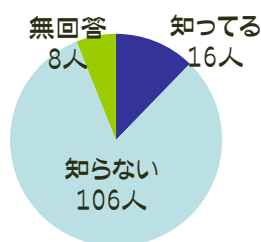
3. 南アフリカで知っている都市は？

南アフリカの都市の名前を答えた人はいませんでした。残念！ アフリカ大陸の他の国を答えてくれた人が多かったです。南アフリカには行政首都の「プレトリア」、喜望峰があり立法首都である「ケープタウン」、アフリカ第2の都市で2010年FIFAワールドカップの決勝戦が行われる「ヨハネスバーグ」などがあります。

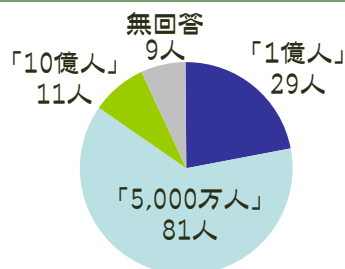
4. 知っている南アフリカ人と言えば？

南アフリカの人物を答えてくれた人はいませんでした。他のアフリカの国の人の名前を答えてくれた人がこれもまた多かったです。南アフリカの有名人といえば、人種隔離政策「アパルトヘイト」の撤廃に努めた南アフリカ初の黒人大統領である「ネルソン・マンデラ」や「ハゲワシと少女」でピューリッツァ賞をとったフォトジャーナリストの「ケビン・カーター」がいます。

5. 国旗は？

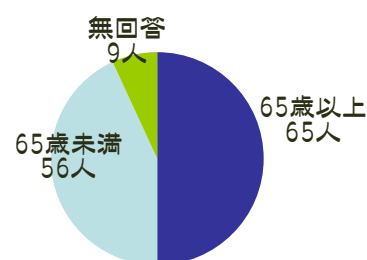


6. 南アフリカの人口は？



※南アフリカの人口は4,740万人(2006年)

7. 平均寿命は？



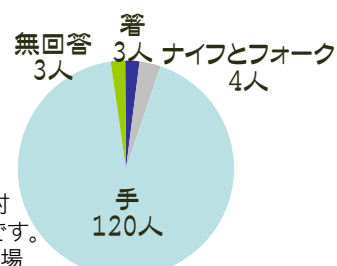
※南アフリカの平均寿命は50歳(2006年)

8. 主食は？



※南アフリカのご飯は、トウモロコシの粉をお湯でこねた「パップ」というもので、手でこねながら食べます。

9. どうやってご飯を食べる？



※都市部では一般的にナイフとフォーク、農村部の一般家庭では「手」を使うことが多いです。ライスのときはスプーンも使います。外食の場合は、たいてい、ナイフやフォーク、スプーンを使って食べます。

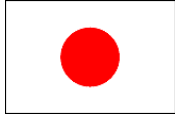
クイズ100人に聞きました！～南アフリカ編～

①では、南アフリカの高校生は、日本のことどのくらい知っているのでしょうか？

南アフリカの高校1年生の女子177人に聞いてみました。何％ぐらいの人が正解したか予想してみてください。

(柳田深雪元青年海外協力隊員による調査)

- ① 日本の国旗はどれでしょう？



- ② 日本の主食はどれでしょう？

A. パン B. 米 C. パスタ

- ③ ご飯を食べるとき、どうやって食べる？

A. はし B. フォーク C. 手

- ④ 日本の人口は？

A. 9億人 B. 1億2千人 C. 5千万人

- ⑤ 日本人の80%が空手ができる。

A. Yes B. No

- ⑥ 「おいしい」というのは「乾杯」という意味である。

A. Yes B. No

- ⑦ 日本人の平均寿命は80歳である。

A. Yes B. No

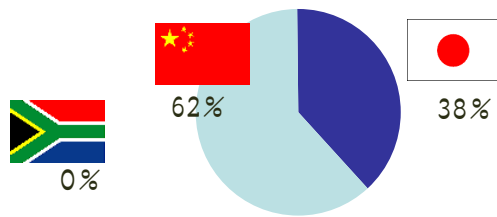
- ⑧ 日本の国土の20%は山である。

A. Yes B. No

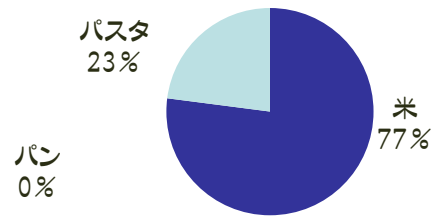
- ⑨ 日本人は中国人と自分たちの言葉でコミュニケーションがとれる。

A. Yes B. No

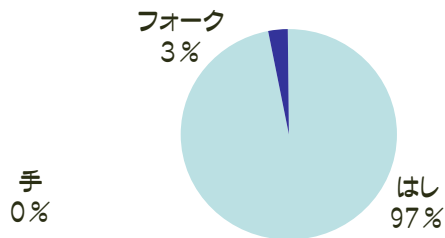
1.日本の国旗はどれ？



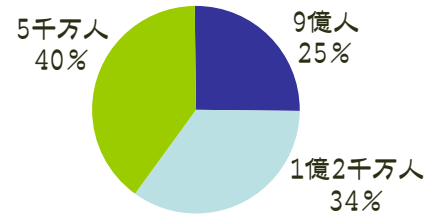
2.日本の主食はどれでしょう？



3.ご飯を食べるとき、どうやって食べると思う？

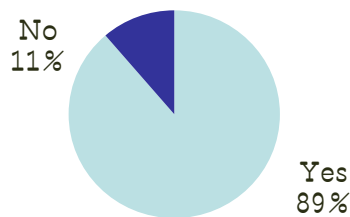


4.日本の人口は？

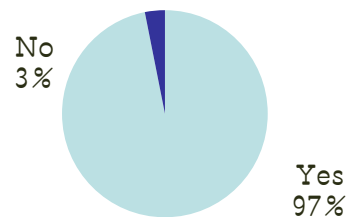


※日本の人口は127,953,000人(2006年)

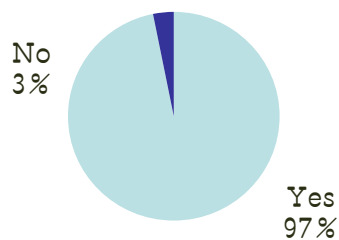
5.日本人の80%が空手ができる。



6.「おいしい」というのは「乾杯」という意味である。

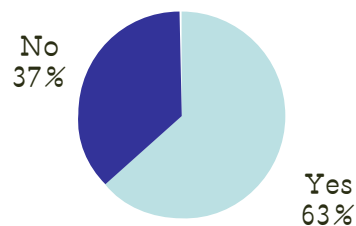


7.日本人の平均寿命は80歳である。



※日本の平均寿命は82歳(2006年)

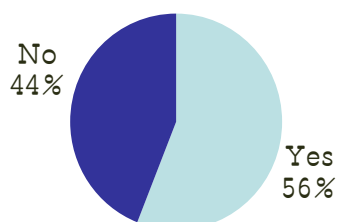
8.日本の国土の20%は山である。



※日本の国土面積は377,915km²、そのうち山地の面積は230,331km² つまり、約60%が山地

総務省統計局「なるほどデータforきっず」

9.日本人は中国人と自分たちの言葉でコミュニケーションがとれる。



南アフリカのウソ？ホント？

① 次のカードは、南アフリカに関わることについて書かれてたものですが、ウソ？ ホント？



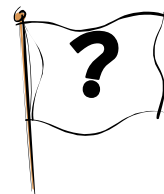
① 日本の公用語は日本語だけだが南アフリカには10語以上の公用語がある。



② 南アフリカの国歌はアフリカーンス語と英語で歌われる。



③ 南アフリカの国旗は世界で一番多くの色が使われている。



④ 2010年のサッカーワールドカップ南アフリカ大会は、ガーナ大会に次ぐ2度目のアフリカ開催である。



⑤ 南アフリカの紙幣には、黒人解放運動指導者であったネルソン・マンデラ氏の顔が描かれている。



⑥ 南アフリカではワインが造られ、世界で10位以内の生産量を誇っている。



⑦ 南アフリカは、金とダイヤモンドの生産量が世界一である。



⑧ 消波ブロックは南アフリカで最初に考えられた。



⑨ 南アフリカの首都プレトリアはアフリカの中で最も南にある首都である。





P.11のこたえと解説です。



クイズを通して、異文化を知るワクワク感を体感する。

① **ホント** 南アフリカの公用語は全部で11語です。アパルトヘイト政策下の公用語は英語とアフリカーンス語だけでしたが、現在は他に、コサ語、ズールー語、スワジ語、ソト語、ツォンガ語、ツワナ語、ペディ語、ヴェンダ語、イデベレ語が公用語に定められています。多くの人は複数の言語を話すことができますが、母語としては、ズールー語24%、コサ語約18%、アフリカーンス語13%、英語8%となっています。

② **×ウソ** 南アフリカの国歌は、まずコサ語とズールー語で始まり、ソト語、アフリカーンス語と続き、最後は英語で歌われます。曲も白人政権時代の国歌「南アフリカの声」と黒人開放歌の「神よ、アフリカを祝福したまえ」を1曲に編曲したものです。

③ **ホント** 世界でもっとも色数の多い国旗がこの南アフリカの国旗です。あらゆる文化と民族の共栄を願って、「レインボーフラッグ (虹の旗)」と呼ばれています。(→詳細はP.30参照)



④ **×ウソ** 2010年に開催予定のサッカーワールドカップは、アフリカで初めて開催されます。治安の問題やスタジアムやインフラ整備の課題はあるものの、アパルトヘイト時代には国際大会の出場すら制限されていた南アフリカで、人種差別撲滅をうたうワールドカップが開催される意義はとても大きいのです。

⑤ **×ウソ** 紙幣に描かれているのは、動物の顔 (ヒョウ、バッファロー、ライオン、象、サイ) です。人物を描いた紙幣が多い中で、なんだかとても南アフリカらしい感じがします。ちなみに、サファリで人気のある動物の「ビッグ5」がこの動物たちと言われています。



⑥ **ホント** ワインの世界的な生産地はフランス、イタリア、スペイン、アメリカ、アルゼンチンで、この5カ国で概ね全世界生産量の60%以上を占めてきました。南アフリカはこれらの国に次ぐ10位以内の生産量を誇っています。さらに、近年は南アフリカとともに、オーストラリア、ニュージーランド、チリなどの南半球の「新ワイン国」が注目され、世界的シェアを拡大しています。なお、南アフリカでは、ほとんどがケープ州 (→P.39地図) で生産されています。

⑦ **×ウソ** 南アフリカは、世界的にも鉱物資源に非常に恵まれた国で、金をはじめ、ダイヤモンド、プラチナ、鉄鉱石などが算出されています。特に金は世界の産出量の半分を占め、生産量世界一を誇っています。しかし、ダイヤモンドの生産量世界一はオーストラリアで、南アフリカは第4位となっています。

⑧ **ホント** 「消波ブロック」とは、堤防や船舶を波から守るための大きなコンクリートの塊で、南アフリカで設計されたものです。このほか、南アフリカにおける開発技術としては、バクテリアなどの微生物を利用して金鉱石から金を抽出する技術があります。



日本の海岸にある消波ブロック

⑨ **×ウソ** 南アフリカは、アフリカの最南端に位置する国ですが、南アフリカに囲まれた国として、「レント」があります。このレントの首都マセルは、南アフリカの首都プレトリアよりも南に位置しているのです。ひっかけ問題でした!

写真から見る南アフリカ

① みなさんは南アフリカといえば、どんなイメージを持っていますか？



② グループに分かれ、南アフリカからイメージするものをできるだけたくさん出し合ってみましょう。

③ 出し合ったイメージをグループで協力して、絵に描いてみましょう。

④ 次に下とP.17の写真12枚を見てください。この中で、南アフリカの写真はどれだと思いますか？

A



B



C



D



📷 柳田深雪

→P.17につづく

⑤ みんなが描いた絵と比べてどうでしたか？ 感想を話し合ってみましょう。



写真はすべて南アフリカのものでした。

A 動物保護区のサイ

南アフリカには自然・動物保護区が小さいものも含めると200カ所も指定されており、アフリカではおなじみのライオン、象、サイをはじめ様々な動植物が生息・生育しています。

B アルゴア湾のペンギン

アフリカンペンギン、ジャッカスペンギン、ケープペンギンとも呼ばれ、南アフリカのアルゴア湾からナミビアのホラムズバード島にかけての沿岸部に生息しています。現在、急速に棲息数が減少しており、南アフリカでは絶滅危惧種に指定されています。

C インデベレ族の女性 **D** ズールー族のダンス

南アフリカの黒人系住民は、民族的特徴から、北ソト、南ソト、ツワナ、ズールー、コーサ、スワジ、ンデベレ、シャンガーン=ツォンガ、ヴェンダの9つの部族に分けることができます。各民族は、それぞれ貴重な神話や伝説、伝統を継承しており、魅力的な文化を形成しています。(普段写真のような服を着ているわけではありません。)

E オランダ系白人の高校生

ブルームフォンテンの下校途中のアフリカーナー(オランダ系白人)の高校生

F アフリカ黒人の高校生

ムブラマンガ州の放課後ネットボールをするアフリカ人(黒人)の高校生

G ジャカラランダ(街路樹花)

日本の桜のように春先(9月から10月)頃に一気に咲いて、プレトリアやヨハネスバーグには紫一色の町が広がります。

H テーブルマウンテン

西ケープ州にある頂上が平らな山で、ケープタウンを見下ろす位置にあります。標高は1,086m、幅はおよそ3kmに及びます。地盤のやわらかい部分が風雨で削り取られ、固い地盤だけが台形状に残ったものです。

I プレトリアの街の一角 **J** スーパーの野菜売り場

南アフリカ共和国の3つの首都のうちのひとつで、行政機能を担っています。人口は約130万人の大都市です。日本と同様にスーパーマーケットがあり、様々な野菜や果物が並んでいます。

K ミデルバーグの白人の家

白人が多く住む街ミデルバーグの旧白人居住区の住居です。高圧電流が流れている有刺鉄線を張り巡らせた塀を備え、警備員を雇ったり警備会社を利用したりしています。家々には自家用車が必ずあります。

L ヨハネスバーグ郊外の黒人の家

ヨハネスバーグ郊外のソウェトの旧黒人居住区の住居です。トタンで作られた壁と屋根の家が多く、たいていトイレは外にあります。



独立行政法人国際協力機構東北支部
ホームページ 藤倉欣浩作成教材より



独立行政法人国際協力機構東北支部
ホームページ 藤倉欣浩作成教材より

South Africa Hair Style!!



みんなはどんなヘアスタイルが好き?



- ① 南アフリカの黒人(子どもも含め)は、とってもユニークな髪型をしています。どのような髪型か想像して、グループで絵に描いてみましょう。

- ② グループで描いた絵をみんなでお互いに見せあっこしましょう。

- ③ 実際には南アフリカの黒人の人たちはどんな髪型をしているのか写真を見てみましょう。写真を見てどう感じましたか? 自分だったらどの髪型がいいですか? グループで話し合ってみましょう。

- ④ では、ここで、髪の手入れについてのクイズです。
 - ① 一般的に、これらの髪型はどのぐらいの頻度で変えていると思いますか。
A.1~2週間に1回 B.1~2ヶ月に1回 C.半年に1回 D.1~2年に1回
 - ② 一般的に、どのぐらいの頻度で髪を洗っていると思いますか。
A.毎日 B.2~3日に1回 C.1~2週間に1回 D.1~2ヶ月に1回

- ⑤ では、最後に青年海外協力隊OG柳田さんの解説を聞いてみましょう。(→P.16)



P.15の写真と解説です。



南アフリカのヘアスタイルや手入れについて知ること
で、文化の多様性を感じよう!



South Africa Hair Style いろいろ



柳田深雪

髪のお手入れは？

クイズの答えは... ①:B 1~2ヶ月に1回 ②:D 1~2ヶ月に1回

<解説> 青年海外協力隊 柳田隊員の報告より

南アの人達のヘアスタイルは色々あって面白い。基本的にチリチリの髪の毛で、私たちのようにストレートではありません。よくあなたの髪の毛は本物ですかって聞かれるし、触りたがります。私たちのようなストレートの髪型にしたい時は、鬘や付け毛を使います。かなり不自然な鬘も気兼ねなく使っている気がします。鬘が飛んだり落ちたりするのは見たこと無いですが、よく付け毛は道端に落ちていたりします。付け毛を編み込んで色んな髪型を作る事もよくあります。特に女の人の髪型はとってもバラエティーに富んでいます。1~2ヶ月に一回くらいの頻度で髪型を変えているようです。ちなみに髪を洗う習慣はあまり無いようです。私が毎日髪を洗っていると言うと、かなり驚いていました。月に一回くらいのペースで洗うようで、つまり髪型を変えるときに、そのガチガチになった髪をほどくために髪を洗うようです。大抵の女性はある程度の編みこみ等は出来るみたいです。なので、母親や姉などがその子供、妹の頭を編んであげています。特に上手な人は小遣い稼ぎに人の頭を編んでいる事も少なくありません。ちなみに、お風呂は1日2回、朝と夜に体を洗うようで、きれい好きなんですね。

髪を洗う回数が少ないといっても、日本とは状況がまったく異なります。気候や髪の質など、いろいろな理由でそれが適切なのですね。

「写真から見る南アフリカ」(P.13)のつづき

E



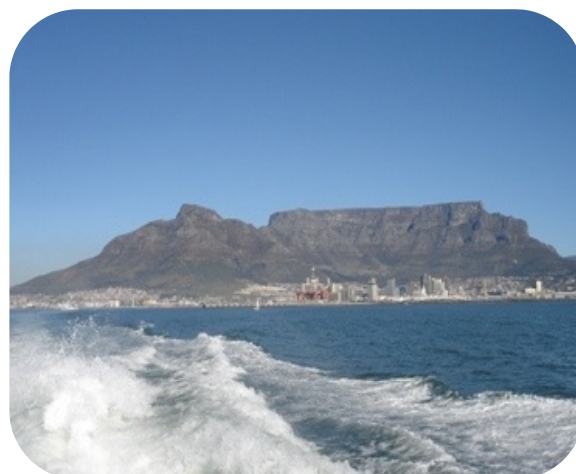
F



G



H



I



J



K



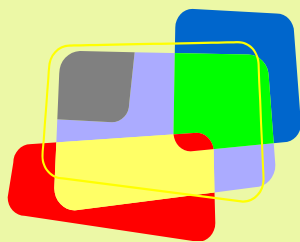
L



E・F: 独立行政法人国際協力機構東北支部ホームページ 山内博美作成教材より G・H・I・J: 柳田深雪
K・L: 独立行政法人国際協力機構東北支部ホームページ 藤倉欣浩作成教材より

 第 2 章

へえ～！南アフリカと日本

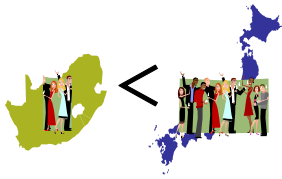


南アフリカと日本、つながってる？？

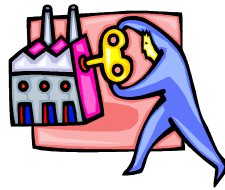
① 南アフリカと日本ってどんな関係があるのでしょうか？
次を書いてあることってウソ？ ホント？



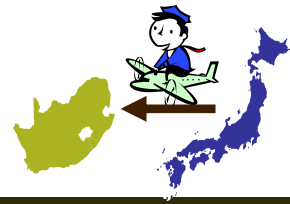
① 日本にいる南アフリカ人の方が、南アフリカにいる日本人の方より多い。



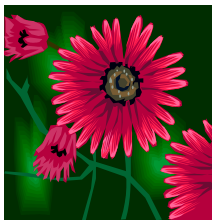
② 南アフリカには、残念ながら日本の企業は進出していない。



③ 日本（成田空港）から南アフリカ（ヨハネスブルク空港）への直行便がある。



④ 日本人に人気のあるガーベラは南アフリカが原産である。



⑤ 日本は、南アフリカから多くの鉱物資源を輸入している。



⑥ ケープタウン港には日本のマグロ漁船の専用の埠頭がある。



⑦ 2002年のヨハネスブルグ地球サミットでは、日本語の「もったいない」が話題になった。



⑧ 南アフリカは、かつて石綿を日本に輸出し、鉱山の黒人労働者は中皮腫や肺ガンを苦しんでいる。



⑨ アパルトヘイト政策下において、日本人は名誉白人とされていた。





P.19のこたえと解説です。



意外とつながっている南アフリカと日本。
クイズを通して南アフリカを身近に感じよう!

- ① **×**
ウン 南アフリカには2006年10月現在1,238人の日本人が滞在し、そのうち1,026人が進出企業の社員とその家族(516人)などの長期滞在者、212人が永住者となっています。一方、日本には2005年7月現在546人の南アフリカ人が滞在しています。
 外務省「海外在留邦人数統計(平成19年版)」
- ② **×**
ウン 2006年現在、南アフリカに進出している日本企業及び現地法人日系企業は71社です。鉱物輸入に関わる商社が多く、自動車関連製造業、販売、金融などの業種も進出しています。
 外務省「海外在留邦人数統計(平成19年版)」
- ③ **×**
ウン 2008年3月現在、日本のどの国際空港からも南アフリカへの直行便はありません。南アフリカに行くためには、香港経由で行くケースが多いようです。
- ④ **○**
ホント 1878年に南アフリカのトランスバール地方で、ドイツの自然科学者に発見されました。日本に来たのは大正初期頃で、現在では、日本人にとっても好まれる花となっています。
- ⑤ **○**
ホント 鉄鉱石や石炭をはじめとした鉱物を多く輸入しています。特に、レアメタルは、ステンレスなどの素材からハイテク分野に至るまで、日本産業に欠くことのできない資源であり、その多くを南アフリカからの輸入に頼っています(日本の全輸入量に占める 割合: プラチナ75%、バナジウム68%、クロム57%など)。
- ⑥ **○**
ホント 日本のマグロ漁船は、3月に日本を出航してケープタウンを目指します。4月には日本漁船専用の埠頭は二百艘の漁船で埋め尽くされます。そこからマグロの群れが東へ移動するのを追いインド洋へと向かい、冷凍庫がいっぱいになれば日本へ帰ります。南アフリカを訪れる機会の最も多い日本人は、マグロ漁師と言われています。
 「氷点下の思潮」詩人秋田高志ホームページ
- ⑦ **×**
ウン 環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性ワンガリ・マータイさんが、2005年の来日の際に、環境活動の3R(Reduce(ゴミ削減)+Reuse(再利用)+Recycle(再資源化))をたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect(尊敬の念)が込められているというこの美しい日本語に感銘を受け、環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。
- ⑧ **○**
ホント アスベスト(石綿)を原因とする中皮腫と肺ガンが日本をはじめ世界的に問題になっています。南アフリカは、ロシア、カナダとともに石綿の3大生産地だったため、当時の黒人労働者やその家族に被害が広がりました(死者は10万人にものぼる)。日本は石綿の主な輸出国であり、全く関係のない出来事ではありません。
 朝日新聞ホームページ「南アでも石綿の悲劇」(2005年11月11日)
- ⑨ **○**
ホント アパルトヘイト政権下においても、南アフリカから金やダイヤを大量に輸入していたため、日本人は黄色人種であるにも関わらず「名誉白人」と法的に位置づけられていました。そのため、住む地域、電車、バス、レストラン、公園などは「白人」用を使えました。しかし、学校は別で、白人との結婚や恋愛は厳重に禁止されていました。

レアメタルって何？

南アフリカと日本の関係を考えるとき、「レアメタル」は重要なキーワードです。

レアメタル(希少金属)とは、「地球上にその存在が希であるか、またはその抽出が経済的・物理的に非常に困難な金属」を総称するもの。ステンレスなどの素材からハイテク分野に至るまで幅広く利用されており、日本の産業にとって欠くことのできない重要な原材料といえます。例えば、プラチナは、貴金属だけでなく自動車の排気ガスを無害化する触媒として多く利用され、自動車産業が発達している日本においては重要なレアメタルとなっています。しかし、我が国は世界有数のレアメタル消費国ながら、そのほとんどを輸入に頼っており、中でも南アフリカは、重要な輸入先となっているのです。

レアメタル	生産 世界ランキング	埋蔵量 世界シェア	日本の全輸入 量に占める割合
プラチナ	1位	88%	75%
クロム	2位	35%	57%
マンガン	1位	77%	44%
バナジウム	2位	32%	68%

★参考★

金

生産世界ランキング1位
埋蔵量世界シェア40%

ダイヤモンド

生産世界ランキング4位
埋蔵量世界シェア12%

NHK「視点・論点:世界が狙う南アフリカのレアメタル」 / 日本貿易月表(日本の全輸入量の占める割合)

データマップで見るアフリカの中の南アフリカ

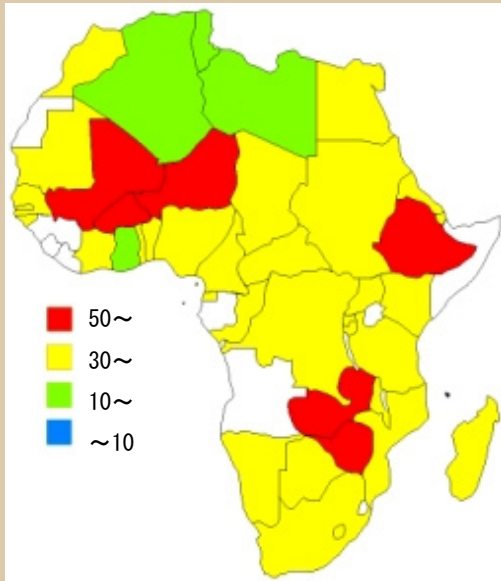
① アフリカの国々の現状をデータマップから探ってみよう! そして、日本の貢献は?

① 次の4つのデータマップは、次のうち何を表わしたもののか、考えてみましょう。

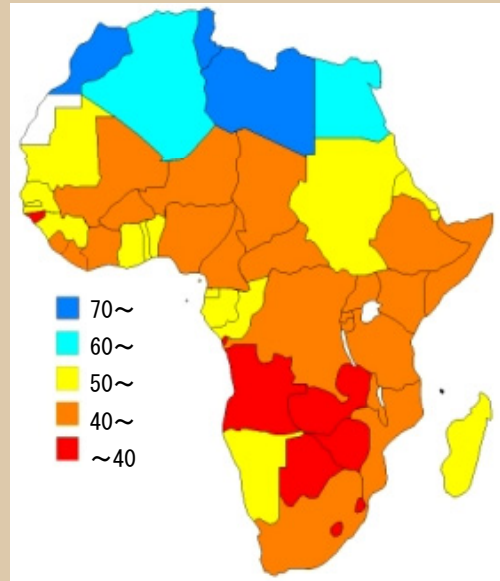
平均寿命 HIV感染率 人間貧困指数 国内総生産



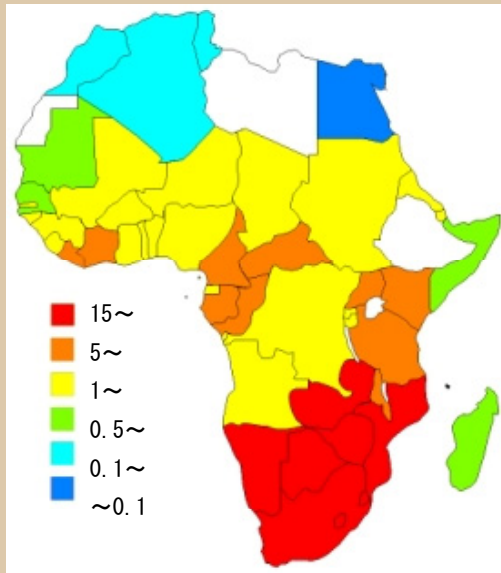
A



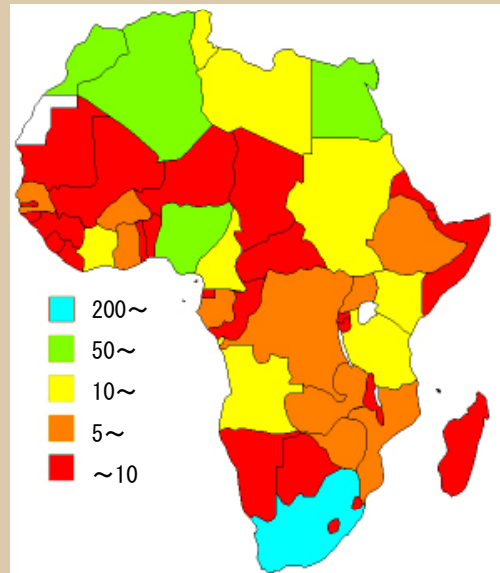
B



C



D



② このデータマップから、南アフリカにはどんな課題があるとわかりますか?

③ 南アフリカが抱える課題に対して、日本が行っている国際貢献の一例を読んで、感じたことを話し合しましょう。



P.21のこたえと解説です。



アフリカの各種データマップから、アフリカの中の南アフリカが抱えている課題を理解し、日本が行っている国際貢献について知る。

A 人間貧困指数

B 平均寿命

C HIV感染率

D 国内総生産

データが意味するもの

●人間貧困指数(単位:%)

「貧困」について、所得以外の生活の質や社会的側面から測定した数値のことで、①40歳まで生存できない出生時確率、②成人非識字率、③改善された水源を継続して利用できない人口および年齢の割に低体重の子どもの割合の3つをもとに算出しています。南アフリカの人間貧困指数は48.5%で、これは人口のおよそ半分の人が「貧困」に苦しんでいることになります。



国連開発計画 (UNDP)「人間開発報告書2004」

●平均寿命(単位:歳)

今、生まれたばかりの子どもが、その時のその国の状態がずっと続いた場合、ここまで生きられるであろうと予測された年月のことです。日本の平均寿命は80歳を超えていますが、アフリカの国の中にはその半分以下のところもあります。南アフリカの平均寿命は47歳(2003年)で、エイズの蔓延とともに年齢が下がり、2010年には40歳を割り込むと予測されています。



世界保健機構 (WHO) 2003

●HIV感染率(単位:%)

エイズウィルスに感染した15歳から49歳の人口割合です。感染率が高い国はアフリカ南部に集中しており、最も高い国はスワジランドで33.4%と国民の1/3が感染している状況です。南アフリカのHIV感染率は、2005年現在18.8%であり、死因のトップになったという報告もあり、平均寿命を下げる要因となっています。



2006 Report on the Global AIDS Epidemic (UNAIDS/WHO)

●「国内総生産」(単位:10億米ドル)

国民が商品を買ったり、家を建てたり、企業が工場を作ったり機械を買ったりした額、つまり国内で使われたお金の総計のことです。アフリカ諸国は総じて低くなっていますが、その中で南アフリカだけ突出して高くなっています。国内総生産が高いにも関わらず人間貧困指数が高いということは、貧富の格差があるということであり、富裕層上位20%の所得を貧困層下位20%で割った倍率は30倍以上というデータもあります。



国際通貨基金 (IMF)2004

日本の国際貢献

こうした課題を抱える南アフリカに対して、日本の国際協力実施機関であるJICA (国際協力機構) は、「貧困地域の開発促進」、「成長戦略のための人材育成」などの協力を実施していくとしています。

(→P.23「青年海外協力隊員の報告」参照)

また、愛知県(名古屋市)出身の日本国際ボランティアセンターの津山直子さんが、日本のNGOとしてはじめて南アフリカに駐在し、農村などで貧困にあえぐ人々と一緒に、環境保全型農業やHIV感染者への支援活動を行うなど、草の根での支援活動も行われています。

南アフリカの学校で

青年海外協力隊17年度1次隊 理数科教師 小野禎文



南アフリカ共和国。その地に降り立つまで想像すらできなかった国で、1年9ヶ月の間青年海外協力隊として活動してきました。私が派遣されていたのはムプマランガ州というところにあるンデベレ教育センターでした。ここは、その地域一帯の教育を支援する場所としてあり、それぞれの学校の先生方のリーダーとなる人が集まっているところです。私の仕事は、そのリーダーの一人と一緒に働き、高校の理科の先生に授業の教え方や実験のやり方を伝えていくというものでした。地域の先生方はアパルトヘイト政策の影響で子どものころ理科を教わったことがありません。だから、理科の先生といっても

どうやって教えたらいいかかわからないというのが、ここでの問題だったのです。もちろん先生のリーダーも子どものころ理科を教わったことがないのです。私はここで、理科を教える「先生の先生」として派遣されていきました。

ところが、働き始めてからしばらくして、あることに気がつきました。「することがない……」

先生たちは、自分たちがもっと教えられるようになりたいとは思っていないようだったのです。だから、無理してまで時間を作って私のところに勉強しにはこなかったのです。個人的に集まりを作ってもほとんど人は来ませんでした。先生のリーダーも働くことがそんなに好きではなかったようで、いない日がとても多かったのです。そんなとき、同じところで青年海外協力隊の活動をしていた数学の隊員にある提案をされました。

「一緒に生徒を集めて授業をしませんか？」

それから、私たちの本格的な活動が始まりました。最初は12月の休み(クリスマスホリデー)を使って生徒を集めることにしました。他の地域の隊員にも声をかけて応援に来てもらうことにしました。計画を話したとき、先生のリーダーである現地の人たちは「絶対人は集まらないよ」「休みの日に人が来るわけない」と言っていました。一応目標は60人くらい集まればいいなというところで、ダメで元々のつもりで募集をかけました。募集したのはグレード9とグレード10(中学3年生と高校3年生)の生徒です。そうしたらなんと400人以上の応募があり、そのうち170人以上が毎日通ってきたのです。

「大人の予想よりもたくさんの子供が勉強したがっている」ということを知ってとてもうれしかったです。

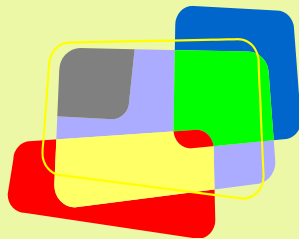
とはいえ、目標の数より3倍もの生徒がきたので、授業自体はとても大変でした。彼らの実力もびっくりするくらい低くて、どこから手をつけていいのかかわからないくらいでした。理科を選んでいる子どもたちのはずなのに、長さの単位が1mだと知らなかったり、1mが何cmか知らなかったりする生徒が、10人のうち7人くらいいたのです。学校では計算をするとき、計算機を使わせているらしく、 $2 \div 10$ を暗算では解けないのです。実は、高校の理科の先生も計算機を使ってこの計算をしていました。そんなわけで授業は簡単なことしかできませんでした。しかし、彼らは一生懸命通ってきていたので、こちらも一生懸命教えてきました。

クリスマスホリデーが終わった後も、土曜日を利用してサタデースクールを行いました。今度は人数を減らして、教えました。60人を二つに分けて数学と理科を教えたのでひとクラス30人くらいになりました。やったことは基本的な単位の計算と速さの計算だけでしたが、半年かかってようやくわかり始めた生徒が出てきました。生徒と別れる日が近づいたころ、生徒にインタビューをしたことがあります。ある生徒は毎回タクシーで500円くらいかけて通っていたそうです。500円は彼らにとって安くない金額です。最初は学校の先生が半分出してくれたそうでした。そのあと、自分で払って通うことになったみたいですが、そうしたらタクシーの運転手が運賃を半額にしてくれたそうです。地域の大人も応援してくれていたことを知って、とてもうれしかったです。その生徒は自分の学校の友達も誘って、ほとんど休まずに私たちの塾(?)に通い、最初のテストではたったの2点だったのに、最後のテストで71点も取ることができました。彼らはできないのではなく、教わっていないだけだということを知ることができました。自分たちができたことはほんの数人の生徒にほんのちょっとのことを教えることだけでしたが、とにかくあきらめずに続けることが一歩一歩進むために一番大切なことなんだと感じました。



 第 3 章

一緒に考えよう！こんな課題



南アフリカのペンギンを救おう！



自分たちの何気ない行為が、めぐりめぐって地球にどんな影響を与えているのか？
南アフリカに住むペンギンの例から考えてみましょう！



南アフリカに住んでいるペンギンは、ジャッカスペンギン、ケープペンギンとも呼ばれ、アルゴア湾からナミビアのホラムズバード島にかけての沿岸部に生息しています。現在、急速に棲息数が減少しており、南アフリカでは絶滅危惧種に指定されています。実はペンギンの数が減っていることはわたしたちの生活と関係しているのです。

例えば、わたしたちは毎日の生活の中で、電気やガソリンを使っていますが、そのことが南アフリカのペンギンにも影響しています。どうしてだと思いますか？

その理由をみんなで考えてみましょう。



南部アフリカ鳥類保護財団SANCCOBホームページ

- 1 半分に切った模造紙を縦に置き、上に「わたしたちが大量に電気やガソリンを使うと」と書き、下に「南アフリカに住むペンギンが絶滅の危機に瀕します」と書き込みましょう。

わたしたちが大量に電気や
ガソリンを使うと

南アフリカに住むペンギンが
絶滅の危機に瀕します。

- 2 次のカードを使って、どうして電気やガソリンを使うことがペンギンの絶滅の危機に関係するのか、その流れを作ってみましょう。カードは何枚使ってもOK! カードに書いてあること以外の新しい項目を入れてもOK! 流れは1つではありません。いろいろな流れを、できるだけたくさん作ってみましょう。



ペンギンやその雛が油まみれになり
死に至る

二酸化炭素が空気中に排出され地球
温暖化が進む

鳥マラリアの感染症地域が南下する

イワシを食べていたオットセイがペンギン
を食べるようになる

ペンギンが食料不足のためか子育て
を放棄し始める

免疫のない南アフリカの鳥類は死に至る

気候変動の影響でケープ半島沖にいる
イワシが減る

タンカー事故が起こり、原油で海や営巣
地が汚染される

産油国からタンカーで原油を運ぶ回数が
増える

- 3 グループで考えた流れを共有し、感想を話し合しましょう。



P.25の流れの例と解説です。



自分たちが普段何気なくしていることや生活が、めぐりめぐって地球全体に影響を与えていることを知る。

絶滅危惧種

自然に生育する動植物は、推計存在種300万～1億1,100種、そのうち約175万種が確認されています。しかし、近年、環境の悪化や生息域の減少、乱獲などにより種の絶滅が急速な勢いで進んでおり、絶滅の恐れがある野生動植物の輸出入を規制する国際的な取り決めであるワシントン条約や、生物多様性条約などの多国間条約が締結されるなど、世界各国が協力して野生生物の保護に取り組んでいます。絶滅の恐れのある種は、国際自然保護連合 (IUCN: International Union for Conservation of Nature and Natural Resources) の「レッドデータブック」にまとめられており、2006年には、調査対象4万168種のうち、1万6,118種が絶滅危機種とされています。

南アフリカのペンギンも、20世紀初頭には150万羽を数えましたが、現在20分の1まで減少しています。

なぜ絶滅の危機！？例えば…

- 例1** わたしたちが大量に電気やガソリンを使う → 二酸化炭素が空气中に排出され地球温暖化が進む → 気候変動の影響でケープ半島沖にいるイワシが減る → ペンギンが食料不足のためか子育てを放棄し始める → **南アフリカに住むペンギンが絶滅の危機に瀕する**
- 例2** わたしたちが大量に電気やガソリンを使う → 二酸化炭素が空气中に排出され地球温暖化が進む → その影響で鳥マラリアの感染症地域が南下する → 免疫のない南アフリカの鳥類は死に至る → **南アフリカに住むペンギンが絶滅の危機に瀕する**
- 例3** わたしたちが大量に電気やガソリンを使う → 二酸化炭素が空气中に排出され地球温暖化が進む → 気候変動の影響でケープ半島沖にいるイワシが減る → イワシを食べていたオットセイがペンギンを食べるようになる → **南アフリカに住むペンギンが絶滅の危機に瀕する**
- 例4** わたしたちが大量に電気やガソリンを使う → 産油国からタンカーで原油を運ぶ回数が増える → タンカー事故が起り、原油で海や営巣地が汚染される → ペンギンやその雛が油まみれになり死に至る → **南アフリカに住むペンギンが絶滅の危機に瀕する**

 テレビ東京放映「蒼い地球、ペンギン達が泣いている」参考

地球温暖化

人間の活動が活発になるにつれて「温室効果ガス」が大気中にたくさん放出され、地球全体の平均気温があがる現象のことです。この地球温暖化による気温の上昇により、南極や北極の氷が溶けて海水の量が増え、水面が上昇します。それにより、「水不足や水害」、「沿岸域の水没」「絶滅する種の増加」などが起こります。

※温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロン など



コラム

ペンギン救出大作戦

鉱石運搬船トレジャー号のケープタウン沖での沈没により、1,139トンの燃料用重油が沿岸を覆い、70,000羽以上のケープペンギンが被害を受ける事態となった。小さなNGOにすぎないISANCCOB (南部アフリカ鳥類保護財団) は、事故発生直後に連絡を受け、IFAW (国際動物福祉基金) を通じて、直ちに海洋汚染の専門家を派遣し、ボランティアと共に救援活動を行った。実に12,000人のボランティアによる総労働時間556,000時間の活動により、救出できたペンギン38,506羽の中で死亡したものが1,957羽に留まった事で報われた。



上田一生著『ペンギン救出大作戦』2003年、海洋工学研究所出版部

アパルトヘイトからわたしと世界を考える



「アパルトヘイト」って知っていますか？ 人権について考えてみましょう。



A. ちがいのちがい

- ① グループに分かれ、次のカードを「あってもよい違い」「あってはいけない違い」に分けてみよう。
- ② それぞれに分けた理由を考え、発表しよう。



1

J国12歳のAさんは学校に行っているが、同じ年のS国のBさんは家族を養うため路上で働いている。

2

Cさんは肌の色が黒いが、Dさんは肌の色が黄色い。



3

自国のEさんには選挙権があるが、在住外国人で同じ年のFさんには選挙権がない。



4

海水浴場で、白人のGさんは専用ビーチで泳げるが、黒人のHさんはその専用ビーチに入ると逮捕される。

5

J国では5歳未満児の死亡率は出生千人に対して4人だが、S国では76人である。

6

世界の20%の先進国の人が80%の富を持ち、80%の途上国の人が残りの20%を分け合っている。

B. 人権チェック！

- ③ P.28の表にある様々な人権について、自分は守られているかどうかをチェックしてみよう。
○：よく守られている △：守られない場合もある ×：守られていない
- ④ 資料1「アパルトヘイト」(→P.29)を読んでアパルトヘイトが行われていた南アフリカではどうだったかチェックしよう。

C. さらに考えてみよう！

- ⑤ 自分も関係しているこうした人権侵害はないか考え、出し合おう。
- ⑥ 資料2「アパルトヘイト後の南アフリカと世界」(→P.30)を読んで、感想を伝えあおう。



世界人権宣言チェック！

条(抜粋)	内 容	わたしや 日本	かつての 南アフリカ
(1) みんな 仲間だ	わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。		
(2) 差別は いやだ	わたしたちはみな、意見の違いや、生まれ、男、女、宗教、人種、ことば、皮膚の色の違いによって差別されるべきではありません。		
(7) 法律は 平等だ	法律はすべての人に平等でなければなりません。法律は差別をみとめてはなりません。		
(9) 簡単に 捕まえ ないで	人はみな、法律によらないで、また好き勝手に作られた法律によって、捕まったり、閉じこめたり、その国からむりやり追い出されたりするべきではありません。		
(13) どこにでも 住める	わたしたちはみな、今いる国のどこへでも行けるし、どこにでも住めます。別の国にも行けるし、また自分の国にもどることも自由にできます。		
(16) ふたりで 決める	おとなになったら、だれとでも好きな人と結婚し、家庭がもてます。結婚も、家庭生活も、離婚もだれにも口出しされずに、当人同士が決めることです。		
(18) 考えるのは 自由	人には、自分で自由に考える権利があります。この権利には、考えを変える自由や、ひとりで、またほかの人といっしょに考えをひろめる自由もふくまれます。		
(21) 選ぶのは わたし	わたしたちはみな、直接にまたは代表を選んで自分の国の政治に参加できます。みんなの考えがはっきり反映されるような選挙が行なわれなければなりません。		
(23) 安心して 働ける ように	人には、仕事を自由に選んで働く権利があり、同じ働きに対しては、同じお金をもらう権利があります。そのお金はちゃんと生活できるものでなければなりません。		
(26) 勉強 したい？	だれにでも、教育を受ける権利があります。小、中学校はただで、だれもが行けます。人は教育を通じて、世界中の人とともに平和に生きることを学ばなければなりません。		





資料1 「アパルトヘイト(人種差別・隔離政策)」

世界には様々な肌の色の人があります。白、黒、赤、黄…。もちろんそれは自分で選んだものではありません。それなのに、もしも皆さんが「あなたは肌が黄色いから、この学校に来てはいけません」とか「肌の色の違う人が恋人同士になったら逮捕します」と言われたらどう思いますか？

そんなことが、最近まで南アフリカでありました。具体的には、全人口の70%以上を占める黒人は、国土の13%にすぎない辺境不毛の地に設けたホームランドと呼ばれる「国」に住まわせられ、そこを「外国」とすることで、黒人の南アフリカにおける市民権を奪い、参政権を奪いました。

黒人は「出稼ぎ外国人」として、白人が経営する農園や工場で働くことで経済的に依存せざるを得ず、給料は白人の10分の1以下で、しかも失業が多いため、一人の給料でたくさんの家族・親戚を養うことも珍しくありませんでした。住む家があればいいほうで、中には空き地に粗末な小屋を立てて生活する人たちも大勢いました。一方、白人は、白人でさえあれば、きれいな校舎での学校生活や庭付きの大きな家で、家事を行う黒人を雇ってのゆとりある生活が約束されました。

レストラン、ホテル、電車、公園から公衆トイレにいたるまで公共施設はすべて白人用と白人以外の人用に区別されました。例えば、レストランのテーブルを白人と黒人がなかよく囲むことは法律で禁止されました。海水浴場でさえ、白人専用ビーチが作られて、そこに立ち入った黒人はすぐに逮捕されました。さらに、混血しないよう人種の違う男女が結婚することを禁止されました。たとえ結婚しなくても、恋愛関係だけで罰せられました。

アパルトヘイト時代の白人居住区の様子
(ルーズベルトパーク1988年撮影)



白人が黒人を雇って手入れさせている緑豊かな庭のある家。けっしてお金持ちではなく、ごく普通の白人の家です。

アパルトヘイト時代の黒人居住区の様子
(アレキサンドラ1988年撮影)



白人用高級住宅街サントンのすぐとなり広がる黒人居住区で、舗装されていない道路は雨が降るとぬかるみ、晴れれば土ぼこりが舞います。いたるところにゴミがちらかり寒々しい町並みが続きます。



人間の尊厳をふみにじるアパルトヘイトをなくすために、差別された黒人はもちろん、白人の中にも差別反対の声が高まり、多くの人たちの努力と死を経て、1994年の春すべての人種が参加する選挙により27年間も牢獄にとじこめられていた黒人政治家ネルソン・マンデラさんが新しい大統領になり、アパルトヘイト関連の法律はすべてなくなりました。

しかし、政治的には平等になったものの、黒人の貧困はすぐには解消できず、HIV-エイズも蔓延し、希望を失った人の中には犯罪に走る人も絶えない状況にあります。今はまだアパルトヘイトの「負の遺産」が残っていますが、教育を受けた若い人が新しい職に就くなど、少しずつ改善しています。

一方、世界に目を向けると、アパルトヘイトの下での南アフリカで、2割に満たない人口の白人が国の富の8割を独占していたと言われていますが、なんと、この数字は現在の世界の貧富の格差とほぼ同じなのです。

現在の世界では、豊かな1%の人の収入と57%の貧しい人の収入とが等しく、8億4,000万人が栄養不良、12億人が一日1ドル未満で生活しています。その結果、2割の人々が何の責任も負わずに8割の人びとを外国人労働者として使うか、企業の海外進出により安い人件費や資源を利用しています。

この状況はまさにかつてのアパルトヘイトと同じです。つまり現在の世界における貧困は、地球社会による人権侵害（グローバル・アパルトヘイト）の結果であると言わざるを得ないのです。

先進国に住む私たちは、その構造の中で、日々の経済活動や生活の中で、何を選択し、どう行動することができのでしょうか。世界からすべてのアパルトヘイト的なものをなくすために！

引用：世界人権宣言大阪連絡会議ニュース282号「世界の貧困をなくすために・私たちの課題」川村暁雄（神戸女学院大学教員）

アパルトヘイト時代の国旗



旗の地にある横の三色旗はオランダ国旗、小さな3つの国旗の左側はイギリス国旗、真ん中はオレンジ自由国国旗、右側はトランスバール共和国国旗を表します。コイサン人やズールー系民族（黒人）を表すものは何も描かれていません。

アパルトヘイト解体後の新しい国旗



赤・白・青の3色は旧国旗にも使われている色で、そこに自由を求めた人たちが使った黒・黄・緑の3色旗を組み合わせ、すべての人たちの協力をシンボル化した旗です。黒は黒人、黄は豊かな地下資源、緑は豊かな自然を表します。

「南アフリカのワインを飲む会」ホームページ



グラハムスタウン



ケープタウン



バナナ畑



ナマクアランド



子どもをおんぶ!



黒人家庭の
一般的な食事



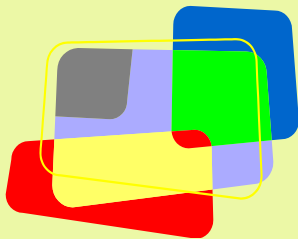
迷い牛を追う女の子



ビーズでできたお土産品

 第 4 章

そして未来へ



もしも外国とのつながりがなくなったら

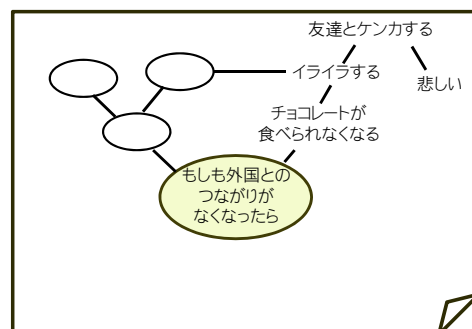


「国際交流」は何のためにするのでしょうか？ 外国に行くこともないし、周りに外国人もいないから、「そんなの関係ない♪」って思っている人はいませんか？



- ① きょうの朝起きてからここに来るまで、使った物、食べたり飲んだりした物、話した人、行った所...何でもいいので、自分が関わった物、人、ことなどをみんなでどんどん出し合って、黒板に書き出してみよう。
- ② いくつ書き出せましたか？ 書き出したものを見てどう思いましたか？
思ったこと何でもいいので、感想を全員で話し合ってみましょう。
- ③ ではその中で、外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものはありませんか？
外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものを、×で消してみてください。いくつ残りましたか？

- ④ それでは、①～③で考えたことも頭におきながら、もしも外国との交流がなくなったらわたしたちの生活はどうなってしまうのか、4～6人のグループに分かれて考えてみましょう。



それぞれのグループで模造紙を1枚ずつ用意して、真ん中に「もしも外国とのつながりがなくなったら」と書き込んでください。そこから、どうなってしまうか思いつくことを書き、さらにそれがどんな風につながっていくのか派生させて考えてみましょう。

例えば、「もしも外国とのつながりがなくなったら→チョコレートが食べられなくなる→イライラする→友達とケンカする→悲しい」もちろん、悪いことばかりではないかもしれません。「もしも外国とのつながりがなくなったら→英語を勉強しなくてもいい→伝統的な美しい日本語が受け継がれていく」他の人が書いた意見に付け加えたり、つなげたりしながら、自由な発想でどんどん広げていってください。

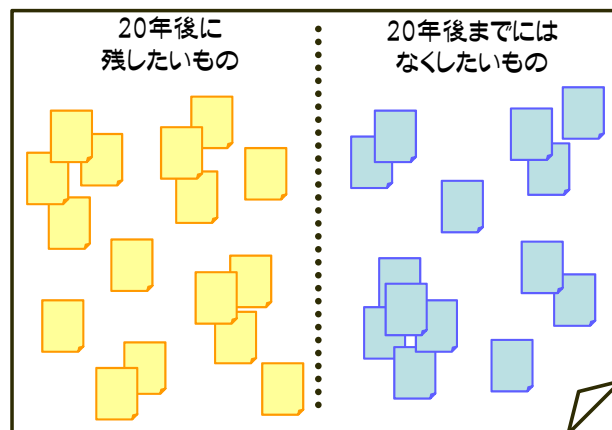
- ⑤ 各グループで考えたことを発表し、みんなで共有しましょう。
- ⑥ 他のグループの発表を聞いてどう思いましたか？ 感想を話し合いましょう。
- ⑦ では最後に、今までやってきたことをふりかえりながら、「何のために国際交流をするのか？」1人ずつ、書いてみましょう。



❓ 未来を創るために自分に何ができるか考えてみましょう。

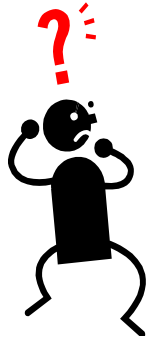
- ① 今地球にある物またはことで、「20年後に残したいもの」、「20年後までにはなくしたいもの」は何ですか？ それぞれ3つずつ考え、付箋紙1枚に1項目ずつ書き出しましょう。
その時、「残したいもの」と「なくしたいもの」は違う色の付箋紙に書くとわかりやすいでしょう。

- ② 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「残したいもの」、右側には「なくしたいもの」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 各グループから出た意見を発表し、全員で共有しましょう。
- ④ では、20年後そうした地球を実現するために、今わたしたちにできることは何でしょう？
自分がやろうと思うことを書き出してみましょう。
- ⑤ 全員で共有しましょう。

もしも外国とのつながりがなくなったら？



●派生図を描いてわかったこと
『もしも外国とのつながりが
なくなったら…』

- ・良いことも悪いこともある
- ・日本は食糧と石油の部分で大きく影響を受ける
- ・「お楽しみ」が減る(映画、音楽、旅行、スポーツ)
- ・文化的な豊かさが減る
- ・世界の様子が見えなくなり不安になる
- ・資源が減る(輸入大国日本)
- ・世界の良さを知らないと日本の良さも見えなくなる

20年後に残したいもの・20年後にはなくしたいもの

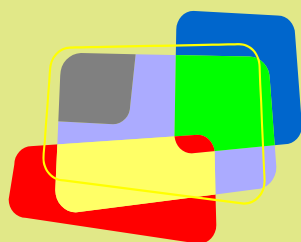
●20年後に残したいもの●

豊かな食／伝統文化／交流・共生／人とのつながり／自然環境／便利さ／希望／やすらぎ／問題解決⇔協力・協働⇔非暴力
安全で豊かな環境／暮らしやすい環境／娯楽平和／笑顔

●20年後にはなくしたいもの●

環境破壊／貧富・格差／いじめ／差別／犯罪
病気／武器／戦争・紛争／核／つめこみ主義
人間よりお金が大事にされる、そんな社会イヤだ！
安全でない食

参 考 資 料



目で見える南アフリカ



1994年に新しくなった国旗の赤は独立国人解放運動のために流された多くの犠牲者の血、緑は農業、黄色は豊かな鉱物資源、青は希望が広がる空、そして黒は黒人、白は白人を表している。新国旗には多人種共存の理想社会実現の願いが込められている。

●人口●



47.4百万人 (2006年世銀)



128.0百万人 (2006年)



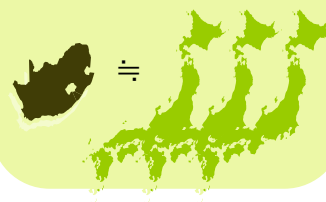
●面積●



1,220,000km²
(日本の約3.2倍)



377,887km²



●言語●

英語・アフリカーンス語・バンツール諸語 (ズールー語、ソト語ほか) の合計11が公用語

●通貨●

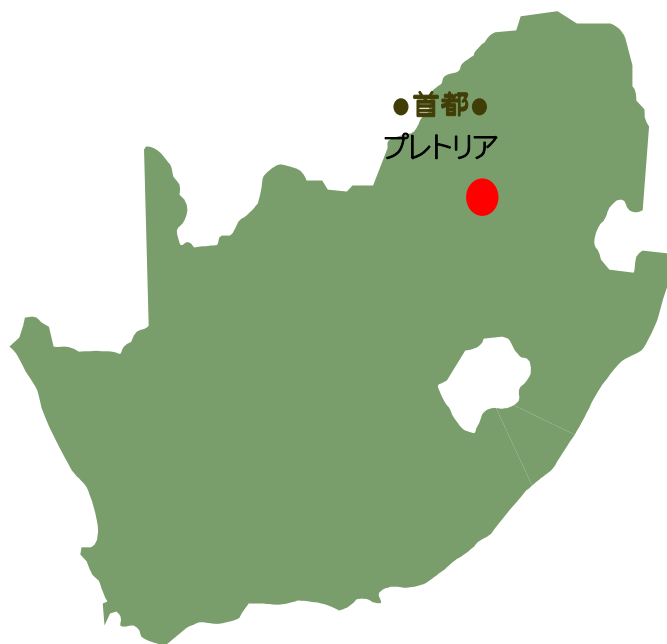


ランド
(Rand)

●気候帯●

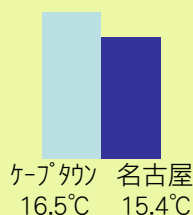


東部: 温帯夏雨気候、温暖湿潤気候
西岸海洋性気候
西部: ステップ気候、砂漠気候
ケープタウン周辺: 地中海性気候

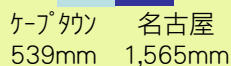


●首都●
プレトリア

●平均気温●

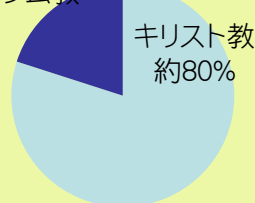


●年間降水量●



●宗教●

ヒンズー教
イスラム教



●日本との時差●

－7時間



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken) ◆人口・面積・首都・主要言語・通貨: 外務省ホームページ「各国・地域情勢」◆日本の人口: 世界子供白書2008 (ユニセフ) ◆日本の面積: 総務省統計局「日本の統計」◆気候帯・平均気温・年間降水量: 外務省ホームページ「探検しよう! みんなの地球」◆名古屋の平均気温・年間降水量: 気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46～H12年の平均) ◆日本との時差: 世界の国一覧表 (財団法人世界の動き社)

畜業・とうもろこし・柑橘類・その他果物・小麦・砂糖・羊毛・皮革類

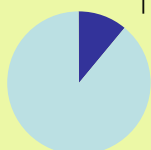
金・ダイヤモンド・プラチナ・ウラン
鉄・鉱石・石炭・銅・クロム・マンガン
石綿



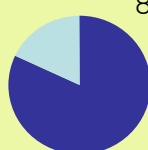
\$\$\$\$\$



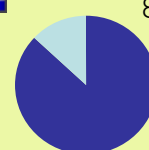
●在日当該国人数●



11%



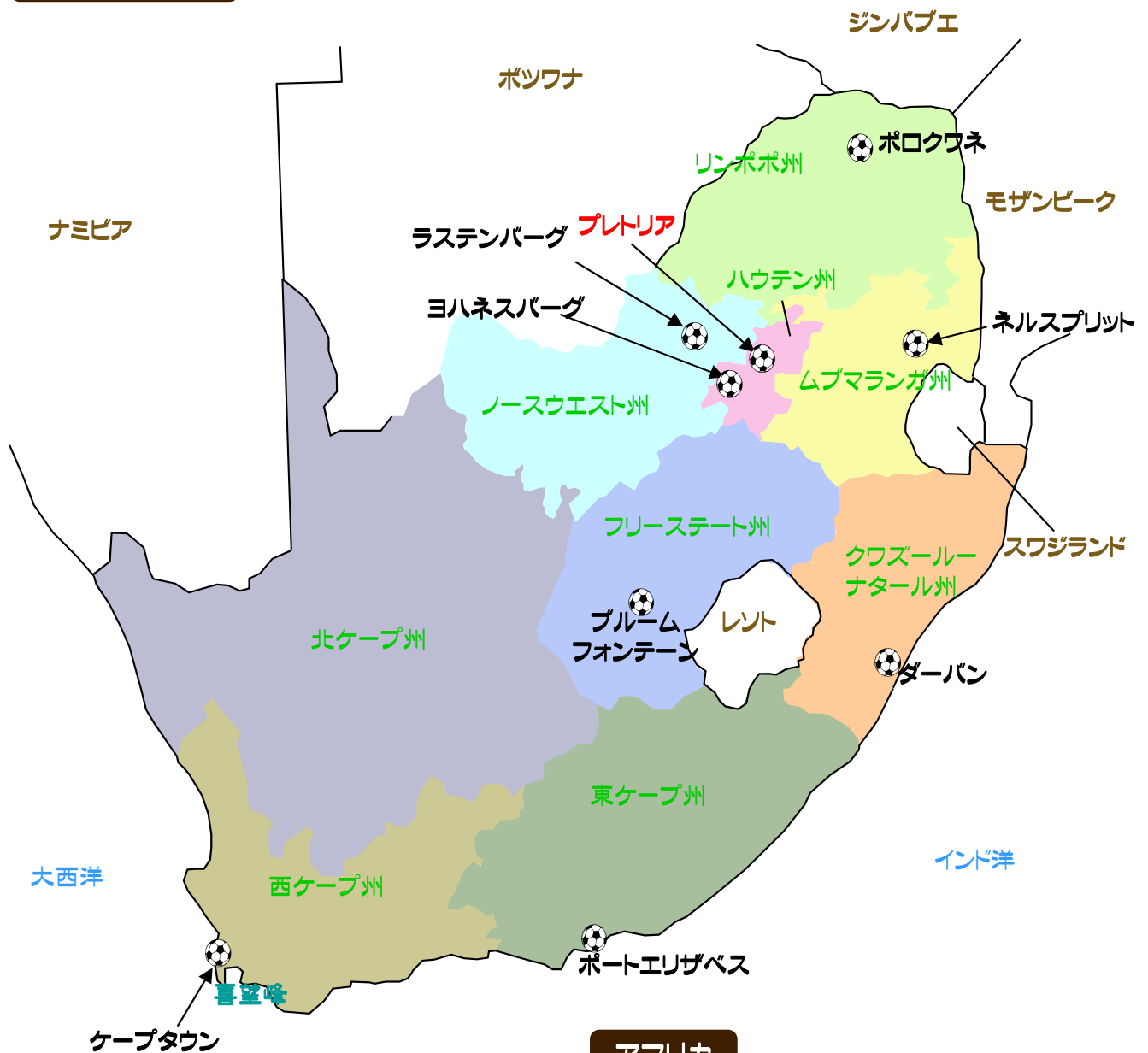
82%



87%

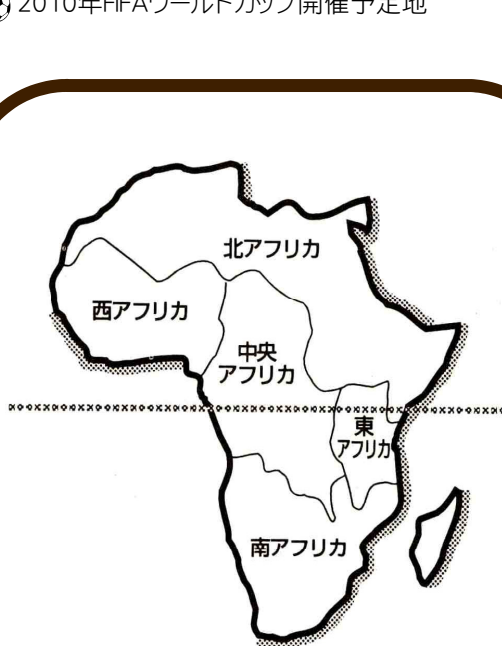


南アフリカ地図



2010年FIFAワールドカップ開催予定地

アフリカ





アフリカ





参考文献・データ等の出典

- 国連開発計画 (UNDP)
<http://www.undp.or.jp/>
- 外務省「各国地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 文部科学省
<http://www.mext.go.jp/>
- 独立行政法人国際協力機構中部国際センター
<http://www.jica.go.jp/chubu/index.html>
- 財団法人日本ユニセフ協会『世界子供白書2008』
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 独立行政法人国際協力機構東北支部
http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/teaching2006_saf.html
- 『人間開発報告書』国連開発計画 (UNDP) 発行
- 『ペンギン救出大作戦』上田一生著 海洋工学研究所出版部
- 『世界人権宣言』谷川俊太郎 アムネスティ・インターナショナル日本支部 金の星社
- 『世界の貧困をなくすために・私たちの課題』世界人権宣言大阪連絡会議ニュース282号
- 『くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図』藤田千枝編／小川真理子著 株式会社大槻書店
- 『南アフリカ 目で見る世界の国々70』ジャニス・ハミルトン著 東眞理子 国土社訳
- 『シリーズ国連5 環境へのとりくみ』安井司・半田博著 リブリオ出版
- 広島大学 教育開発国際協力センター「国際教育協力論集」第1巻第1号(1998)pp.111～124
村田翼夫(筑波大学) 著
- 『南アフリカのペンギン』加藤ゆかり(日本獣医生命科学大学3年) 著

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 青木澄夫(中部大学国際関係学部国際関係学科教授)
- 柳田深雪(JICA青年海外協力隊OG)
- 小野禎文(JICA青年海外協力隊OB)
- 独立行政法人国際協力機構中部国際センター
- 独立行政法人国際協力機構東北支部



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 南アフリカ共和国 

2008年3月 初版

2013年3月 第2版

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

中日本印刷株式会社

